

注意事項

1 会場使用上の注意

- (1) 飲食は、メインアリーナ・サブアリーナ内では行わないこと。
* 飲食可能エリアと観覧席とする。
- (2) 施設は土足厳禁なので、体育館シューズに履き替えること。
- (3) 会場内はフラッシュを使用した撮影は禁止する。
- (4) 会場内で発生したゴミは、各自責任を持って持ち帰り処分すること。

2 アリーナ使用時間

- (1) 20日（金）の公式練習は、17:00～20:00とする。
* クラスごとに選手受付及び器具チェックが公式練習の時間内に行われる。
- (2) 20日（金）の開場時間は 15:00とする。
但し、開場後のウォーミングアップは17:00～とする。
- (3) 21日（土）は開会式準備があるため、開場後のウォーミングアップは選手練習コートのみとする。
- (4) 22日（日）開場後のウォーミングアップは、8:30より使用可能とするが、競技コートの使用は、第一試合の選手のみとする。それ以外の選手は、選手練習コートの使用とする。
コール受付の時間の管理については、選手各自で行うこと。
- (5) 20日（金）の公式練習後および21日（土）、22日（日）の競技終了後は手際よく後片付けをすませ、速やかに退場すること。

3 弁当について

- (1) 申し込み後の弁当のキャンセルは不可とする。
- (2) 事前に申し込まれた弁当は11時より総合受付で配布する。配布時間は11時から14時までなので、時間内に必ず取りに来ること。
- (3) 代金の支払いについては、事前入金すること。
- (4) 弁当ガラは、各自でお持ち帰りとする。

4 荷物の送付について

- (1) 自宅までの送付を希望する場合は、荷物置き場に送付票の記入をして置くこと。
- (2) 宅配便の伝票は総合受付にあるので、必要な場合は申し出ること。取り扱いはクロネコヤマトとゆうパックのみ。
- (3) 宅配便の基準（縦・横・高さの合計が160cm、重さが25kg）を超えるものの送付の場合や、送付荷物に保険加入を希望する場合は、必要費用を持参の上、総合受付に申し出ること。
* 保険料は補償金額1万円につき10円。

5 駐車場について

- (1) 駐車場については、定められた場所に安全に注意して譲りあって使用すること。
- (2) 事前に車両証を配布するため、ダッシュボードの見える位置に掲示すること。

6 大会参加者の注意事項

- (1) 主催者において傷害保険には加入しているが、各自事故、ケガの無いように努めること。
- (2) フィジオルーム（コンディショニングルーム）は、会場図参照のこと。
- (3) 貴重品は各自で保管すること。
- (4) 練習コートの使用については、次に試合のある選手の利用を優先すること。
- (5) 競技に必要な器具・用具は、試合以外はサブアリーナで保管すること。

7 報道・広報関係

- (1) 報道関係からの依頼がある選手はミックスゾーンでの取材を行う。
- (2) 公式練習時も公開取材となるため、取材を希望された選手は必ず対応をすること。
- (3) 競技終了後、優勝者記者会見を記者会見場で行うので、該当の選手は留意すること。
- (4) 撮影した公式写真については、日本ボッチャ協会に帰属するものであり、公式 SNS, ホームページ等で使用するものとする。

大会申し合わせ事項

1 競技規則について

この大会は「日本ボッチャ協会競技規則 2021-2024 v. 2. 0」並びに大会申し合わせ事項によって実施する。競技規則に記載のない問題が発生した際には、規則 2 ページの記述に基づき審判長（HR）および競技運営責任者（大会技術委員長：TD）が協議し、最終決定を下す。

2 用具検査について

器具検査は1月20日（金）に全選手に対して行う。競技用具、ボール等の取り扱いは、「日本ボッチャ協会競技規則 2021-2024 v. 2. 0」の規定に準ずる。なお、大会球の使用については、招集にて審判が確認を行うので、そのときに申告すること。

3 招集について

コールルームは競技開始30分前に開場し、15分前に閉鎖する。選手はコールルームが開場しているうちに受付を完了すること。コールルームには、選手本人、アクレカード（名札）を受け取ったスポーツアシスタント、ランプオペレーター及びコーチ、コーチングアシスタント以外は入ることができない。

4 ナンバーカードおよびアクレカード（名札）について

- (1) ナンバーカードは選手の受付時に2枚（BC1、BC3クラス、およびBC4フットプレーヤーはスポーツアシスタント、ランプオペレーター分含め3枚）渡される。ナンバーカードは、選手は胸か脚（前面）に取り付け、ランプオペレーターは背中に、そのほかのスポーツアシスタントは胸にナンバーカードを取り付ける（1枚は予備）。
- (2) アクレケースに会員証を入れること。（アクレカード：名札）会員証を忘れた場合は、大会受付時に申し出ること。会員証が届いていない選手も受付で申し出ること。
- (3) ナンバーカードおよびアクレカードは、コールルームに入る場面や審判に確認を求められた時には提示すること。ナンバーカードおよびアクレカードがない選手、スポーツアシスタント及びランプオペレーターはコールルーム受付ができない。

5 競技進行について

競技時間は、原則公表した競技進行によって運営されるが、試合の延長などにより遅延することもある。その場合は掲示板に時間の変更を連絡するので、選手および関係者はよく確認すること。なお、通告のあった内容の未確認によって発生した不手際は、すべて選手の責任となり、いかなる抗議も主催者は受け付けない。

6 競技方法

- (1) すべて男女別の個人戦で「日本ボッチャ協会競技規則 2021-2024 v. 2. 0」が提示する障害区分BC1、BC2、BC3、BC4の4クラスで実施する。
- (2) 各クラスとも予選リーグ戦を行い、上位者による決勝トーナメントを実施する。予選リーグの順位は、BISFed Competition and Ranking Manual 2021-2024 に則り、①勝ち数、②直接対決、③得失点差、④総得点、⑤総勝ちエンド数で判断する。

- (3) スポーツアシスタントは BC1 及び BC4 フットプレーヤー、ランプオペレーターは BC3 クラスにのみ認めるものとする。それ以外の競技者については、コールルームおよび競技中にスポーツアシスタント、ランプオペレーターを使用することはできない。
- (4) スポーツアシスタント、ランプオペレーターの手配は事前に行い、アクレカードの申請のないスポーツアシスタント、ランプオペレーターを使用することは認められない。尚、やむをえない事情でスポーツアシスタント、ランプオペレーターを登録者以外のものを使用する場合は、総合受付を通じて大会技術委員長に申請すること。
- (5) 残り時間のコール及びエンド間の時間計測については公用語（英語）で行われる。

7 表彰について

- (1) 各クラス男女別に上位 3 名までにメダルを授与する。
- (2) BC3 クラスのランプオペレーターについてもメダルを授与する。

8 クラス分けについて

- (1) 競技中、クラス分け員による競技観察を行う。
- (2) クラス判定を受けてからの期間およびクラスステイタスに関わらず、現時点での当該クラスが妥当と判断されない場合、再度判定を行うことがある。
- (3) クラス判定は、BOCCIA CLASSIFICATION RULES 5th Edition October 2021 に準じて判定する。
- (4) 競技観察や再判定の結果から、対象選手のクラス変更を行う可能性がある。
- (5) クラス変更後の出場クラスについては、審判長及び大会技術委員長の判断により行う。
- (6) 競技中に使用するグローブやベルトなどの競技用補助具（車椅子も含む）について、クラス判定を受けたときに申し出のあった補助具以外は認められない。
変更している選手は、1月20日（金）の受付時に必ず申し出てクラス分け委員会の判断を仰ぐこと。

9 次年度日本ボッチャ選手権大会のシード権獲得について

- (1) 各クラスの成績上位者は、次回日本ボッチャ選手権大会の予選会参加が免除となる。
- (2) 予選会参加の免除となる成績上位者は、以下の通りとなる。
①BC1 : 男子 2 名 女子 2 名 ②BC2 : 男子 4 名 女子 4 名
③BC3 : 男子 4 名 女子 4 名 ④BC4 : 男子 2 名 女子 2 名
* 本大会の出場者が免除者と同数以下となる場合、予選会免除の対象とならないこともある。
- (3) 成績上位者の次回日本選手権大会の出場が困難・辞退した場合、以下の措置にて対応する。
 - ・ 当年度の予選会実施前に事態が発生した場合、前回日本選手権の該当クラスの次点選手を補充選手とする。
 - ・ 当年度予選会実施後に事態が発生した場合、当年東西予選会出場選手の該当クラスの各次点選手によりシーディングマッチを実施し、勝者を補充選手とする。
 - ・ 当年度日本選手権出場申し込み時に事態が発生した場合、大会の欠場として取り扱う。

10 アンチ・ドーピングについて

- (1) 本大会は、日本アンチ・ドーピング機構（以下、JADA）により国内最高レベルの競技大会として指定され、ドーピング・コントロール対象大会であり、また、TUE（Therapeutic Use Exemption：治療使用特例）事前申請対象大会となっている。本大会に出場予定選手には JADA による「アンチ・ドーピング e ラーニング FAIR PRIDE」の受講とともに使用薬物調査を必須とする。競技会に参加申込みをした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング検査を受けることに同意したものとみなす。
- (2) また、18 歳未満である本競技会参加者の申込みにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者から同意を得たものとみなす。
- (3) 本競技会に参加する 18 歳未満の参加者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し、携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>）からダウンロードできる。18 歳未満の参加者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後 7 日以内に JADA 事務局へ郵送にて提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとする。
- (4) 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査を拒否または回避した場合、検査員の指示に従わなかった場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- (5) 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。
- (6) 本競技会参加者は使用薬物調査書に各自必要事項を記載し、申込み時に合わせて送付すること（使用薬物が無い場合についても、「使用無し」として必ず返送すること）。※「使用薬物調査書」 ➡ 協会ホームページからダウンロードして記入参加申し込み後、郵送またはメールで提出すること。